

ジョーズ・リターンズ (1980)

THE LAST SHARK
THE GREAT WHITE
L'ULTIMO SQUALO

メディア 映画

ジャンル パニック ホラー

製作国 イタリア／アメリカ

時間 88分

公開情報 劇場未公開・TV放映

【解説】

「JAWS／ジョーズ」の世界的ヒットは数多くの亜流作品を生み出したが、このマカロニ製はちょうど「JAWS／ジョーズ2」と「ジョーズ3」の間にあたる80年に作られている。亜流品にははコンスタントな見せ場で飽きさせず、E・G・カステラッリもソツのない演出を見せる。ストーリーなんぞは本家と似たりよったりだが、さすがイタリア製、ヒロインかと思われた女の子がいきなり足を喰いちぎられるなど不必要な残酷描写には事欠かず、特に、ヘリで救助されかけた男性の真下からサメが浮上して下半身をバククリもぎり取るシーンなどは、その臆面もないサービス精神に頭が下がる思いだ。主人公のJ・フランシスカスが、ピーター・ベンチリー（「JAWS／ジョーズ」の原作者）をモデルにしたような作家という設定も、あからさまに本家を意識してて面白い。ミニチュア・セットにサメを放して撮影したクライマックスもアイデア物。長らくTVのみの公開であったが、97年夏に遂にビデオ化となった。「ジョーズ'96／虐殺篇」と併せて観ると驚くはず。

【クレジット】

監督	エンツォ・G・カステラッリ	Enzo G. Castellari	
製作	マウリツィオ・アマティ ウーゴ・トゥッチ	Maurizio Amati Ugo Tucci	
製作補	サンドロ・アマティ	Sandro Amati	
原案	ウーゴ・トゥッチ	Ugo Tucci	
脚本	マーク・プリンチ	Marc Princi	
撮影	アルベルト・スパニョーリ	Alberto Spagnoli	
水中撮影	アルナルド・マッティ	Arnaldo Mattei	
	ジャンカルロ・フォルミキ	Giancarlo Formichi	
編集	ジャンフランコ・アミカッチ	Gianfranco Amicucci	
音楽	モートン・スティーヴンス ガイド&マウリツィオ・デ・アンジェリス	Morton Stevens Guido & Maurizio de Angelis	
出演	ジェームズ・フランシスカス	James Franciscus	ピーター・ベントン
	ヴィク・モロー	Vic Morrow	ロン・ヘイマー
	ステファニア・ジロラーミ	Stefania Girolami	ジェニー・ベントン
	ミッキー・ピナテッリ	Micky Pignatelli	グロリア・ベントン
	ジョシュア・シンクレア	Joshua Sinclair	ウィリアム・ウェルズ市長

トーマス・ムーア
ティモシー・ブレント
ジャン・マルコ・ラリ

Thomas Moore
Timothy Brent
Gian Marco Lari

マット・ローゼン
ボブ・マーティン
ビリー・ジョー